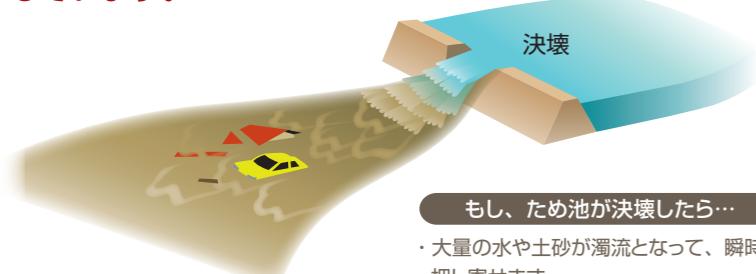


ため池ハザードマップ

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、新地ため池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。



もし、ため池が決壊したら…

- ・大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。

携帯電話などに事前登録しておけば、外出先でも防災情報を受け取れます

●熊本市災害情報メール

<https://www2.fastalarm.jp/kumamoto/htdocs/>

登録無料



熊本市の緊急防災情報
(避難勧告)など

●熊本県防災情報メールサービス

<https://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

登録無料



県内の防災情報、最新の
気象情報、避難情報など

新地ため池

» いざというときの緊急連絡先

	消防	火事・救助・救急	119 (局番なし)
	警察	事件・事故の通報	110 (局番なし)
	熊本市役所		096-328-2111
	熊本市 南区役所		096-357-4111
	熊本市 南消防署		096-212-0119
	熊本南警察署		096-326-0110
	九州電力 宇城営業所		0120-986-605
	NTT 西日本 (電話の故障)		113 (局番なし)
	ガス	※販売店の電話番号を記入してください。	
	自治会長		
	消防団		

いざという時の連絡手段

●災害時の安否確認

災害時には、電話やインターネットを利用して被災地にいる方の安否確認を行うことが出来ます。

電話からは 災害用伝言ダイヤル 171 (局番なし)

パソコン・スマートフォン・携帯電話からは web171

<https://www.web171.jp/>

●ため池決壊について知ろう

» ため池決壊の原因 (地震と大雨)

地震



南区城南町の鬼ため池では、2016年(平成28年)熊本地震で、上池と下池の堤体に亀裂が多数発生し、緊急放水が行われました。

なお現在は、復旧工事が完了しています。

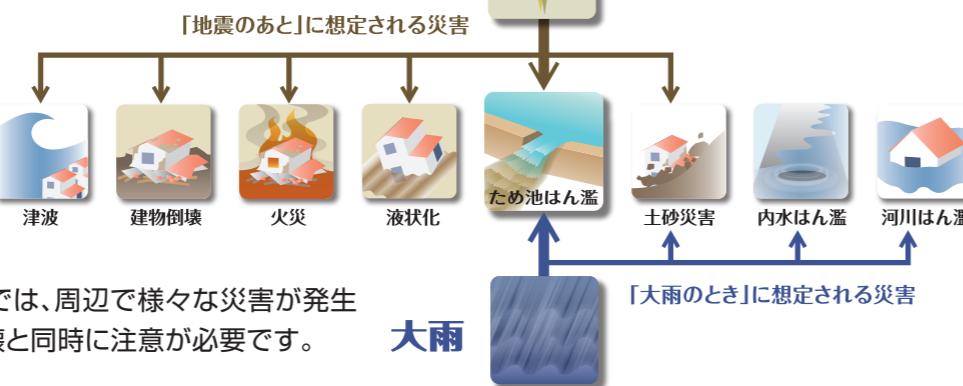


鬼ため池(下池の堤体)における亀裂発生の様子
(熊本市撮影)

大雨



近年、短時間に激しく降る大雨(ゲリラ豪雨)が日本各地で増加しています。台風や梅雨時期に雨が降り続くと、ため池の水位が上昇し、ため池決壊のおそれがあります。



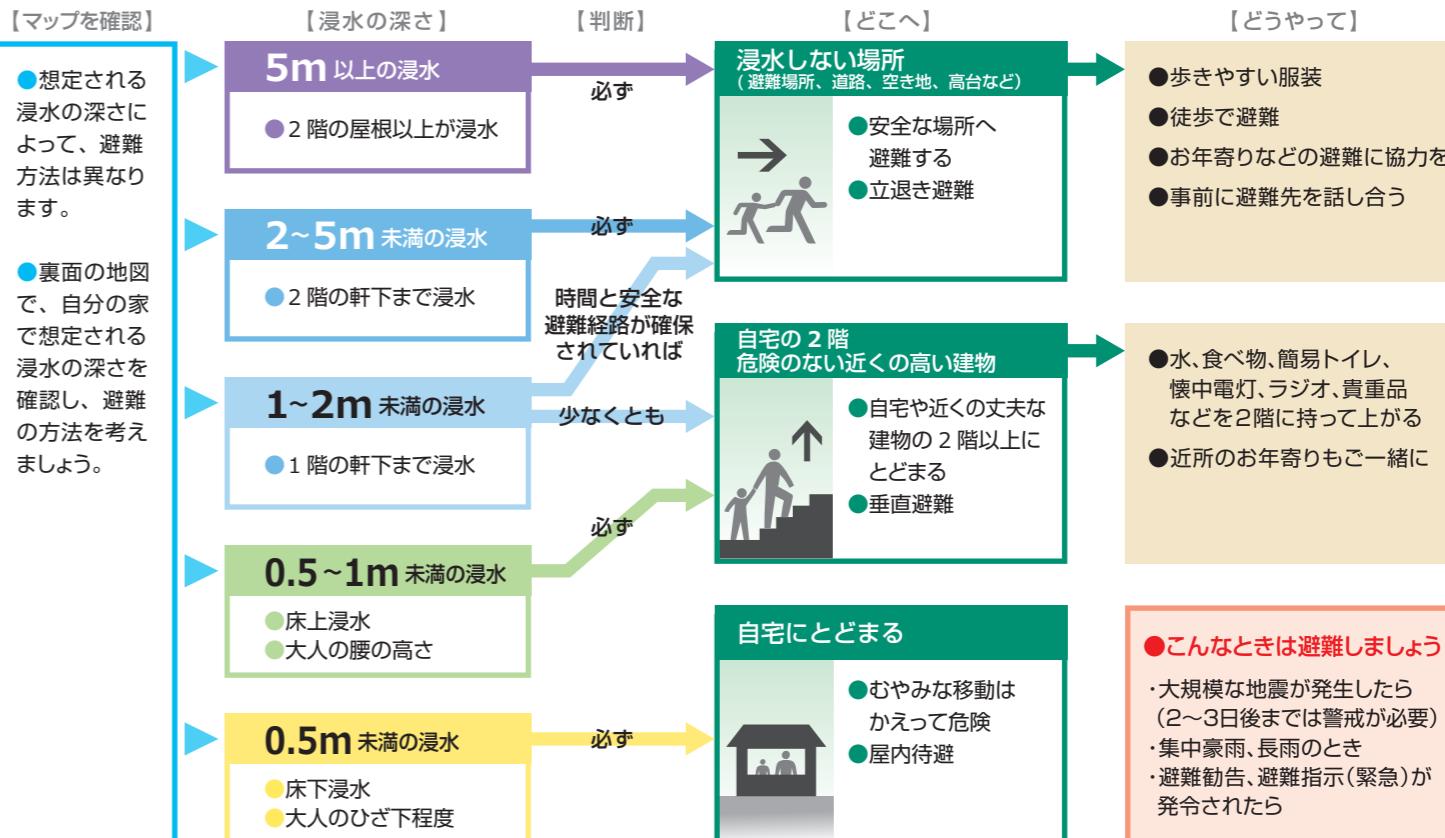
○ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊と同時に注意が必要です。

● 状況に応じた避難をしよう

» ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】



【どうやって】

- 歩きやすい服装
- 徒歩で避難
- お年寄りなどの避難に協力を
- 事前に避難先を話し合う

- 水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持つて上がる
- 近所のお年寄りも一緒に

- こんなときは避難しましょう
- ・大規模な地震が発生したら(2~3日後までは警戒が必要)
 - ・集中豪雨、長雨のとき
 - ・避難勧告、避難指示(緊急)が発令されたら

● 正確な情報を入手しよう

» 避難情報や気象情報の伝達経路

熊本市水防本部

- 避難準備・高齢者等避難開始
- 避難勧告
- 避難指示(緊急)

- 気象情報
- 地震情報

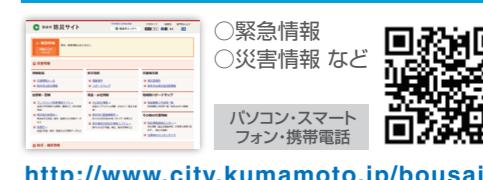
【伝達手段】

- 消防機関
- 水防信号
- 広報車
- 防災無線
- 熊本市災害情報メール

- テレビ
- ラジオ
- インターネット

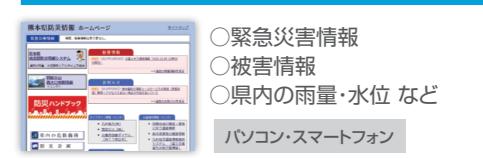
» インターネットによる最新情報の入手先

●熊本市防災サイト



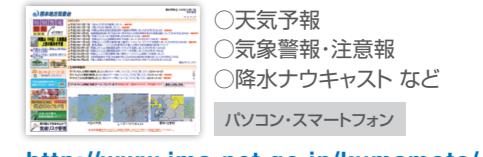
<http://www.city.kumamoto.jp/bousai/>

●熊本県防災情報ホームページ



<http://cyber.pref.kumamoto.jp/bousai/>

●気象庁(熊本地方気象台)



<http://www.jma-net.go.jp/kumamoto/>

避難情報の種類

●避難準備・
高齢者等避難開始

●避難勧告

●避難指示
(緊急)

みんなのとるべき行動

- | |
|--|
| ●避難に向けた準備を開始してください。 |
| ●高齢者や障がい者など、避難に時間がかかる方は、避難を開始してください。 |
| ●身の安全を確保し、家族や近所で助け合いながら、あわてず、すみやかに避難してください。 |
| ●すぐに避難してください。 |
| ●既に危険が差し迫って避難が困難な場合は、自宅の2階や近くの高い建物へ避難してください。 |